

## 【2024年度 森づくり団体助成一覧】

●高額助成3団体	活動内容
特定非営利活動法人 近自然森づくり協会 北海道支部 (札幌市)	<p>1. 「生態学的混播・混植法」による生物多様性の高い樹林の再生            日本では、大規模な地形改変により、自然状態では容易に樹林化しないところや、侵略的外来種に覆われたところ、また、単一樹種の人工林など、生物多様性が劣化し、樹林がもたらす生態系サービスが十分得られなくなったところが多く存在する。そこで、火山や地すべりなどの変動地域での自然林の成立過程を参考に、自然林に近く生物多様性の高い森林を再生させる技術(生態学的混播・混植法)を1991年から開発・改良を続けている。この方法では、自然林で種子を採取し、育てた苗(実生群ポット苗)を用いて、多種・多数の苗を、客土などをせずに現地の土に植栽し、自然の競争と選択に任せる。その後の経過を観察した結果、生物多様性の高い樹林を経費や労力を抑えながら造成することに有効であると確証を得て、各地で実践を進めている。</p> <p>2. 「近自然森づくり」による既存林の生態系サービスの活性化            スイス連邦チューリッヒ州は、日本と同様に地形が急峻で、人件費は世界最高水準であり、経済林については、2005年以降補助金がほぼ全廃された。にもかかわらず、森林の経済的利用と環境保全が両立している。2010年から現地の視察や、実践している技術者(フォレスターと森林作業員)を日本に招聘して、その理由を検討した。この結果、下記の結論に至った。            (1)育成木(保残木)への資源の集中、(2)樹種・樹齢の多様化、(3)バイオマスの利用促進、(4)林道・機械投資の効率化と技術者教育の徹底、(5)経済林の陽光林化、(6)効果的な広報活動、(7)フォレスターの活用。            そこで、スイスでの森づくりを「近自然森づくり」と名付け、実践している技術者(フォレスターと森林作業員)を招聘し、日本の各地で実践的なワークショップを開催し、また、「近自然森づくり」を用いて既存林の生態系サービスの活性化を進めている。</p>
北大森林研究会 (札幌市)	<p>北大森林研究会は、森林と林業について学びたいと、個人的に学外の林業現場等に訪れていた北海道大学の学生が出会ったことで発足された。しかし、大学生が集まって林業の課題や解決策について考えるだけでは行動に移すことはできなかった。そこで、本研究会はまず研究会会員が森林を通じてワクワクすることや、森を楽しむことを目的とし、会員のやりたいことをそれぞれが仲間を募って行き、まず森林の知識や経験を増やすことを目的に活動を展開している。            会員それぞれが各々の興味関心に従って活動を展開するうちに本研究会の活動の幅は広がっていった。            主に行っている活動は、林業について学び、考えることとして、林業現場の見学や、実際に作業を経験させていただいている。森林資源の価値について考えることとして森で拾ってきたものや製材所ででた端材を製品に加工したり、その製品の販売を行ったりしている。森と人とのつながりを学び、自分たち自身も森と人がつながるきっかけとなることとして、国営滝野すずらん丘陵公園にてガイドイベントの開催や、公園が主催するイベントへの参加などを行い、一般の方に森を案内したり、森の楽しみ方を見つけたりする活動をしている。また、森について自由に語り合う時間をつくったり、森について真面目に語り合う時間をつくったりと様々な方法で森を愉しんでいる。</p>
三笠森水遊学舎 (三笠市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植樹(太陽の森植樹イベント、幾春別川河畔林づくり)</li> <li>・ツリーイング(ロープ木登り)体験会</li> <li>・川遊び体験(川泳ぎ、レスキュー訓練、カヌー・ラフティング体験)</li> <li>・川の清掃(幾春別川クリーン作戦)</li> <li>・ヤマベ稚魚放流事業</li> <li>・緑の羽募金活動</li> </ul> <p>上記のような森や川でのアウトドア学習、体験活動を通して、子供の健全育成、社会貢献を目的として、さらに川や森の利用や保全、未利用資源のバイオマス開発などを実践して、地域への人と自然の共生と産業の活性化を図ることを目的としている。</p>
●小額助成19団体	活動内容

間伐ボランティア 札幌ウッディーズ (札幌市)	間伐を主とした山林の手入れにより、森林の持つ役割の手助けをして環境整備に貢献していく。
当別森林ボランティア 「シラカンバ」 (当別町)	当別町在所と森林地を拠点に森林保全や自然環境保全の森づくりに取り組むとともに、活動を通じて仲間との絆を深め、自然との共生や森を守る知識や技術を習得することを目的としている。
森のようちえん〈チュブの丘〉 (岩見沢市)	地球環境を守るための森づくり人づくりを行う交流の場の創出
沼田どってこどってこ (沼田町)	地域の山林において、ふと訪れたいくなるような安全で美しい森を目指して、道づくり、間伐、下草刈り等を行うとともに、森林体験活動を実施することで、人と自然のつながりを増やすことを目的としております。近年の気候遠藤への対応として、CO2吸収増大や、水源涵養、生物多様性の維持などの多目的機能を意識した森づくりの方法を検証し、イベントやSNSで情報発信することも活動の一環として行う予定です。
フォレストクリエイティブ (TACK) (当麻町)	北海道の身近なフィールドで活動し、障がいを持った方々と森を整備することで、後世に存続可能な環境を残していくことをねらいとする。
ようてい木育倶楽部 (札幌市)	森林や気を通じて豊かな心を育んでもらうことや持続可能な社会の形成に繋がると考え、より多くの人々に森林に関わりを持ってもらえるような仕掛けや体制を構築したい。
旭山自然調査隊 (札幌市)	身近に残る自然を近隣の子供達と守る活動 生物多様性や希少種を守るため在来の樹林や集水域の環境を保全し繁殖地を守る
魁！自然塾 (恵庭市)	木育や環境教育を通して、人をつなぎ、地域をつなぎ、人が育ちあえる活動を実施し、地域で育った子どもが、大人になり、地域で活躍し、またその子どもが、地域で育つ世代の循環(ジェネレーションサイクル)の実現を目指します
黒松内ぶなの森自然 学校運営協議会 (黒松内町)	ここ数年間間伐の木育活動への利用活動を継続していくと、黒松内町内には、不要な丸太の処分に困っている地域住民が多数いることが分かった。助成金により、安全管理の道具を揃え、人材の確保やノウハウを蓄積していきたい
特定非営利活動法人 森のころね (厚真町)	当団体会員が個人所有する約0.3haの森林を会員やその子供たちの活動場所としたいが、危険木や支障木が数多く存在するため、林内の3割ほどしか利用されていない。そこで今後安心して森の全域を資料していくために、会員自らが森の現状を把握し、森づくりのノウハウを正しく学び、ミニつけて実践していけるようにしたい。また、整備等で出た木材や枝条はクラフトの材料やホダ木、薪などにして有効に活用したい
森の輪プロジェクト (旭川市)	森の輪プロジェクトは、赤ちゃんとその保護者に自治体から木製玩具「森の輪(わっこ)」を送る取り組みです。赤ちゃんとその保護者の皆さんに気にふれ、木を知ってもらうことで、森林や木製品に興味関心、愛着をもつきっかけとなる取り組みです。
帯広の森サポーターの会 (帯広市)	当会は十勝地方の自然豊かな郷土の森を再生し後世に残すことを目的に、市民が楽しく安全に憩うことが出来る森づくりを行っており、現在は植樹後20年以上経過した広葉樹区域および40年近く経過した針葉樹区域の約32ヘクタールを担当している。具体的には植樹後殆ど人の手が入らなかった人工林において、下記の活動を実施している。 ①下草刈りや枝打ち、徐間伐等の育樹作業、外来種の草木に除去 ②散策路整備やベンチ・看板設置等、市民が安全に利用できる環境整備 ③未利用資源の有効活用(間伐材の利活用拡大、クラフト利用の啓発等) ④会員と市民を対象にした各種研修会を開催し、郷土の森を育てる仲間づくりと次世代の人材育成推進

<p>南かやべ森と海の会 (函館市)</p>	<p>当会では森林が持っている多様な機能が地域住民に理解されることに基づき、川汲川、大舟川の河川環境の保全を推進するため、南茅部地域内で植樹活動を行っています。令和元年度および令和2年度には、世界遺産登録となりました史跡大船遺跡内において、縄文時代から植生しているヤマグリおよびヤマザクラの植樹を実施し、史跡内の環境保全を図っていきたくと考えております。また、平成11年から13年度「昆布の森づくり事業」で栗の木を植栽した箇所草刈り事業を実施し、植栽地の環境保全を図っていきます。</p>
<p>放課後ちいきあそび (標津町)</p>	<p>地域の自然や人と関わる”あそびと原体験”を通じて、子どもたちに不可欠な”成長の土台づくり”に貢献する活動を創出する。</p>
<p>特定非営利活動法人 里見緑地を守る会・ど んぐり (北広島市)</p>	<p>北広島団地の南西端に位置する里見町5～7丁目地先の里見緑地(約10ha)の環境整備・保全と「さんぽまち北広島団地」の地域活性化に寄与すること</p>
<p>いしかり森林ボランティ ア「クマゲラ」 (石狩市)</p>	<p>石狩の自然を愛する有志により20年前に結成し、道石狩振興局森林室の指導受けながら間伐、育苗、植林を行ってきた。近年は植林した樹木の保全活動を重点に活動しています。今後は石狩の山林がますます豊かになるよう植樹育樹を継続し、普及啓発活動にも力を入れ、自然環境の向上に寄与します。</p>
<p>一般社団法人にむの 森 (札幌市)</p>	<p>過去70年間人の手が入らない横山家の私有林に魅せられ、人と森の共存と、出来るだけ手を加えない自然の森を目指し、約20年前、会員制の「にむ倶楽部」を作る。今年当法人を立上げ、にむ倶楽部の想いと仕組みを踏襲し、五百年はかかるだろうが遊べる2次原生林を目指して森を維持してゆきたい</p>
<p>NPO法人北海道新エ ネルギー普及促進協 会 (札幌市)</p>	<p>木質ペレットストーブ・ボイラー等の普及をすすめる事により、化石エネルギー仕様の削減を行い二酸化炭素排出を減らすと共に、森林の循環利用、地域経済の振興につなげることを目的とします。</p>
<p>NPO法人 トラストサルン釧路 (釧路市)</p>	<p>保護されず開発が続く釧路湿原や水源の丘陵地帯の保護を目指して、市民の自発的意思に基づく拠出金で土地を購入または寄贈を受けて管理する。生態系の破壊が進む丘陵地では自然林の齊瀬を行い、湿原の水源地として保全を進める。</p>